

部活動の活動方針

栃木県立黒羽高等学校



<p>学校の 教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学び 思考力を培う ・心身を鍛え 根気を養う ・責任を重んじ 勤労を尊ぶ
<p>部活動の 基本方針</p>	<p>1 適切な運営のための体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動はスポーツや文化活動に関心を持つ生徒同士が、活動を通して交流したり、より高い水準の技能や記録等へ挑戦する過程で、スポーツや文化活動の楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験する活動であるとともに、生涯にわたって、スポーツや文化活動を継続し、豊かな人生を送るための基盤を作ることが目標であると考えている。さらに、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構成を図るとともに、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場としての教育的意義は大きい。 <p>これらのことから、部活動と教育課程の関連が図られるように留意し、勝利至上主義に偏ることなく、学習や学校生活、家庭生活との調和が図られるように、大会への参加や練習の在り方を考え、適切な年間計画のもとに、運営を行っていく。</p> <p>2 学校部活動における安全管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策ガイドラインを参酌し、運動部活動中の熱中症事故の防止に努める。各所に WBGT 計を配備し、危険な値に基づく区分に従い、部活動の実施の可否、および実施内容を検討する。また、春先に積極的に体を動かすことにより、計画的に暑熱順化を行うとともに、早寝早起きや適切な食事等をとる生活習慣を整えさせ、熱中症になりにくい体力の育成に努める。 ・事故防止マニュアルや事故対応マニュアルを作成し、適宜研修を行い、有事の際には、救急車の手配や連絡方法などについて、全職員が対応できるようにしておく。 ・定期的に安全点検を実施し、瑕疵がある場合には、迅速に対応できるようにする。 ・部活動等の活動計画を職員室に掲示し、活動の見える化を図り、迅速に対応できるようにする。 <p>3 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が科学的なエビデンスに基づく、合理的な練習方法を教授する。 ・生徒主体で目標の設定や練習計画の立案、振り返りを行うことにより、意欲を喚起するとともに、リーダーシップやマネジメント力も育てる。 ・勝敗だけでなく、努力、協力、成長など多面的な評価基準を持つ。その際、ポートフォリオや活動記録を参考にする。 ・ICTを活用し、練習メニューの共有やフォームのチェックなどを行う。 <p>適切な休養日等の設定</p> <p>【休養日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、週当たり2日の休養日を設ける。その際、週末（土曜日及び日曜・日）の少なくとも1日を休養日とする。ただし、各部活動の大会の時期等を考慮し、該当の週における休養日については、示された日数よりも少なくすることも可能とする。その際は、できるだけ、週末のいずれか一日を休養日とするとともに、ある程度長期の休養期間を設けることで、年間の休養日を確保する。 ・大会参加等で休養日を確保できない場合は、休養日を他の日に振り替える。 ・長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。 ・定期試験1週間前からの試験期間中の部活動は休養日とするが、大会等の事情による場合は学校長の許可を得る。 <p>【活動時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、平日の活動は2時間程度、休業日の活動は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・練習試合や大会等で基準の活動時間を超えて活動する場合には、生徒の健康管理に十分配慮し、1日のうちに休養時間を適切に設定するとともに、別の日の活動時間を減らすなど、週当たりの活動時間にも留意する。

